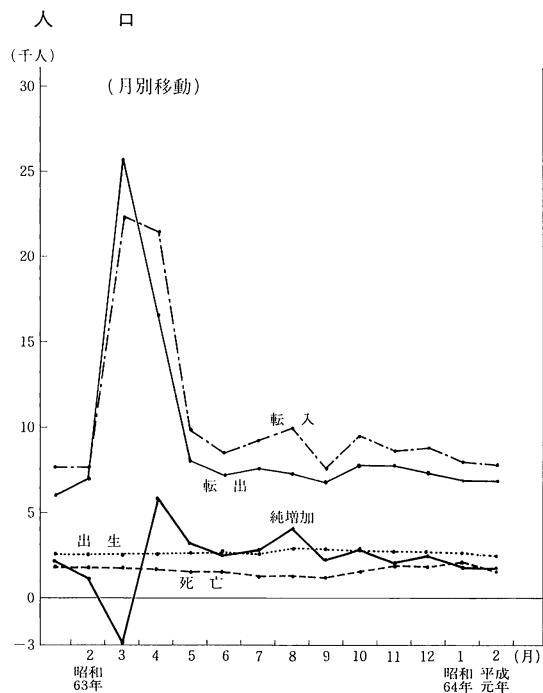
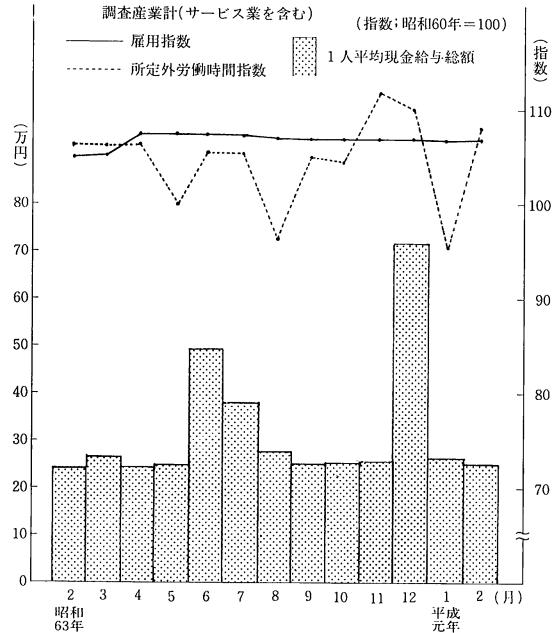


## ● 今月の主な動き

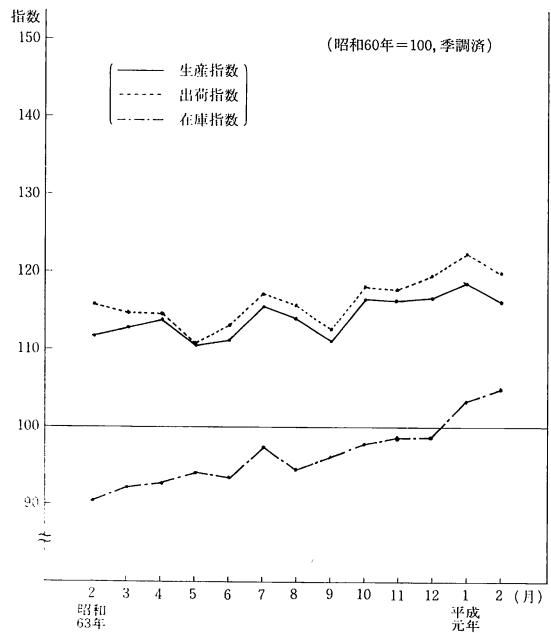
# 今月の主な動き



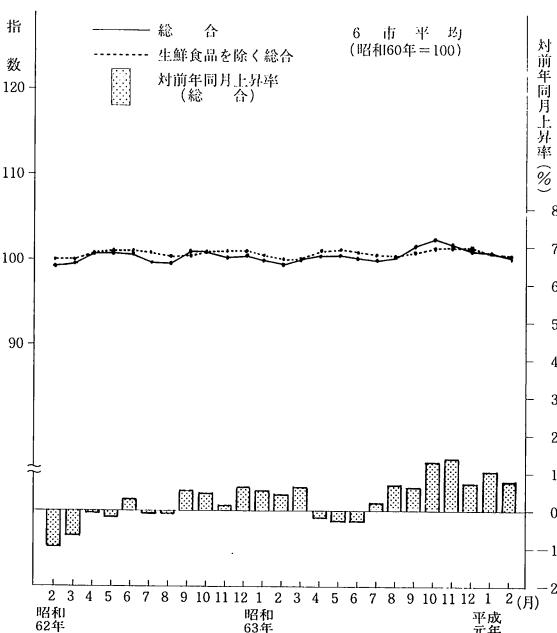
## 賃金・労働時間・雇用



## 鉱工業指数(生産・出荷・在庫)



## 消費者物価指数



# 今月の主な動き●

## 主な動きのあらまし ..... 企画部統計課

### ■人 口(3月1日)

本県の人口は、2月中に1,573人増加し、3月1日現在で2,807,869人(男1,399,161人、女1,408,708人)となった。

内訳は、自然動態で753人(出生2,234人、死亡1,481人)、社会動態で820人(転入7,713人、転出6,893人)、それぞれ増加した。

### ■賃金・労働時間・雇用(2月)

#### 1. 平均賃金の推移

2月の現金給与総額は、調査産業計で250,273円、前年同月比2.1%増(前月は5.6%増)であった。このうちきまって支給する給与は249,172円、前年同月比2.5%増(前月は2.6%増)であった。また、きまって支給する給与のうち、所定内給与は、218,380円で前年同月比1.8%増(前月は2.3%増)であり、超過労働給与は30,792円で前年同月比7.4%増であった。

なお、実質賃金は前年同月比1.8%増であった。

市町村別では、増加が14市45町村、減少が5市22町村、増減なしのが1市1村である。

世帯数についても、538世帯増加して801,525世帯となった。

#### 2. 労働時間

2月の総実労働時間は176.5時間で、前年同月比2.4%減(前月は1.8%減)であった。このうち所定内労働時間は、157.2時間で、前年同月比2.8%減(前月は2.6%減)であった。また所定外労働時間は19.3時間で前年同月比1.6%増(前月は4.9%増)で、増勢鈍化の傾向となっている。

#### 3. 雇用の動き

2月の常用雇用の動きを前年同月比によってみると2.1%増(前月は1.7%増)であった。

### ■鉱工業指数<生産・出荷・在庫>(2月分)

本県における平成元年2月の“鉱工業指数”(昭和60年=100)は、季節調整済指数で、生産が△116.5、出荷が△20.3、在庫が△04.6で、前月比は、生産が△1.8%の低下、出荷が△1.7%の低下、在庫が2.1%の上昇であった。前年同月比(原指数)は、生産が4.1%の上昇、出荷が3.5%の上昇、在庫が15.3%の上昇であった。

業種別に前月比をみると、生産では、金属製品工業、食料品・たばこ工業、その他工業等が上昇し、精密機械工業、電気機械工業、輸送機械工業等が低下した。出荷では、金属製品工業、食料品・たばこ工業、繊維工業等が上昇し、

精密機械工業、電気機械工業、輸送機械工業等が低下した。在庫では、輸送機械工業、石油・石炭製品工業、精密機械工業等が上昇し、鉱業、繊維工業、食料品・たばこ工業等が低下した。

特殊分類別にみると、生産財では、非耐久消費財、建設財等が上昇し、耐久消費財、鉱工業用生産財等が低下した。出荷では、非耐久消費財、建設財等が上昇し、耐久消費財、鉱工業用生産財等が低下した。在庫では、その他用生産財、鉱工業用生産財等が上昇し、耐久消費財、非耐久消費財等が低下した。

### ■消費者物価指数(2月)

平成元年2月の茨城県消費者物価指数は、総合で100.4(昭和60年=100)となり、前月比△0.7%の下落、前年同月比0.8%の上昇となった。

今月上がった主な項目……設備修繕・維持1.2%，他の教養娯楽1.0%，自動車等関係費0.7%，他の光熱0.4%。  
今月下がった主な項目……衣料△7.3%，野菜・海草△6.7%，シャツ・下着△4.8%

生鮮食品を除く総合は100.7となり、前月に比べ△0.3%の下落、前年同月に比べ0.7%の上昇となった。

費目別指數 (昭和60年=100)

区分	指數	上昇率(%)		区分	指數	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総 合	100.4	△0.7	0.8	保 健 医 療	103.1	△0.1	0.2
食 料	99.2	△1.2	0.7	交 通 通 信	100.1	0.1	△0.4
住 居	109.4	0.6	3.2	教 育	113.2	0.0	2.8
光 熱・水 道	87.6	0.0	△0.8	教 育 娯 楽	102.9	1.0	1.7
家 具・家 事 用 品	98.9	△0.3	0.2	諸 雜 費	103.6	0.1	0.7
被服及び履物	97.9	△4.6	1.1	生鮮食品を除く総合	100.7	△0.3	0.7